

鉄道軌道建設工事業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	14~15	軌道内での保線作業中、休憩時に飲料水を買に行こうと線路内から出ようとして、高さ約2mの擁壁から下の道路へ飛び降りて着地した際、左足かかとを骨折し、右足かかとを打撲した。	44	417	3	—
2017	1	17~18	事業所敷地内でトラックから工具類の積み降ろしをしているとき、レールを荷台から降し、片付ける際、持っているレールと置く台の間に指を挟み受傷した。	43	521	4	10~29
2017	2	9~10	工事現場で物置の吊りワイヤーを外して、物置から脚立で降りる時に前かがみで降りる時脚立が外側にふくらみ転落した。（脚立は6尺を使用して、ロックはしていない。）	54	371	1	—
2017	2	17~18	被災者は、定時後2階の協力会社事務所にて内業に従事していたが、トイレに行くため、2階から1階へ階段を下りた際に左足を踏面（下から2段目）を踏み外し、地面に着地時に足首を捻り負傷した。	44	413	1	—
2017	2	2~3	ロングレール交換終了後、門扉に器材を搬出するため、施工基面と駐車場の間にある側溝に被せてある敷鉄板の通路上を歩行中、他の作業員を避けながら歩行していたため、誤って敷鉄板から足を踏み外し、側溝に転倒し左足首を受傷した。（高さ700mm）	43	414	2	1~9
2017	2	14~15	駅間の軌道内で支持物基礎掘削に伴う木矢板打ち込み作業を行っていた。前日までは手打ち道具で打ち込みしたが効率が悪いのでハンマードリル工法に変更した。この時、木矢板天端にセットした専用金具が	34	364	7	—

			ハンマードリルの振動に耐えられず破損し、木矢板から外れ、ハンマードリルが滑り落ちて、ハンマードリルの取っ手金具と木矢板天端で左手親指を挟まれた。				
2017	2	0~1	駅間で急曲線部の外軌側レール（ロングレール）を交換（?=287m）する為、レールとまくらぎの締結装置を解放し、本人はその金具を整理していたところ、フリーとなった外側レールが温度の低下により急激に内側へ変位（移動）したためそのレールとバラストの間に右足を挟まれ負傷した。救急車手配により、病院にて初期治療したところ右足中足骨第2、第3、第4指4ヶ所の骨折が判明した。尚、本人は安全ヘルメット、作業用手袋、安全靴を着用していた。また、レール移動を予想（約20cm）していたが、予想以上の変位だった。	44	419	7	—
2017	3	9~10	構内にて、レール整理の目的でレールの下に半マクラギの受け台を入れるため、レール吊り上げ器にてレールを吊り上げていたところ、吊り上げ器の設置箇所の地盤が軟弱であったためレール吊り上げ器が転倒し、吊り上げたレールが左足甲に落下した。	24	361	6	50 ~ 99
2017	5	1~2	受傷者は持ち替えのため挿入後に一旦仮置きされたPC枕木のインシュレーターがレールと枕木間に落ちたためインシュレーターを取ろうとした際に再度持ち上げられたPC枕木とレール底部の間に左手親指を挟み受傷した。	31	149	7	30 ~ 49
2017	7	3~4	本社1階倉庫内において建設機械・工具の片付け、積み下ろしを2名で作業中重量物（レールベンダー約110kg）を移動させていた。重みでふらつき転倒した際、レールベンダーと地面に左手の人差し指を挟んだ。	61	417	2	10 ~ 29
2017	7	11~12	当日監督者他4名建設作業員5名で鉄道沿線の伐採を草刈機を用いて行っていた。昼前に被災者が、肩から背中への攣りを訴えたのでとりあえず休憩させた。点滴を、受け、現在入院している。	41	715	11	1 ~ 9
2017	7	0~1	駅構内にて踏切内のレール交換中、受台に仮置きしたレールが、山越	29	521	4	50 ~

			器を取り扱っていた作業員の左足踵に倒れ受傷した。				99
2017	10	1~2	ロングレール取替作業に従事するために線路内に立ち上がったが、上り貨物列車が接近してきた為、上り線線路脇に退避し、車両が通過するのを待っていた時、何らかの物体が飛しょうして、右顔面に当たり負傷した。	48	529	4	10 ~ 29
2017	11	2~3	夜間作業で駅構内にて支持杭打ち込み作業をしていた時に、打ち込み後に生じた空隙を充填するために山砂を一輪車に積み運搬していた。線路横断のために踏切ゴムを敷設していたが早く終えて後片付けの手伝いをしようと速く歩いたところ、一輪車が横揺れし、バランスを崩して転倒し、右足太ももをレールにぶつけ右肘を道床に打ち受傷した。	68	362	2	1 ~ 9
2017	12	14~15	事業所内に於いて、現場で使った枕木を車両の荷台から取り下ろす際、手が滑り、枕木が落下した。その時、右手の親指が枕木とトラックの荷台の間に挟まれ負傷した。	31	522	7	10 ~ 29
2017	12	15~16	当事業所内に於いて、車両の整理・道具などを降ろし、車のドアを閉めようとした際、左手がまだ車の縁にかかっているのに自分で勢いよく閉めてしまい、左手中指がドアに挟まり負傷した。	32	221	7	10 ~ 29
2017	12	1~2	ロングレール交換を実施中に、レールに張力をかけて引っぱっていたところ、締結していた金具がはずれ、内側に移動し、作業していた本人の足に当たった。2名作業であり、引っぱっていた別の作業員も同時に被災した。	46	416	4	10 ~ 29
2017	12	2~3	駅間上り線レール交換工事現場でトロ台車（1t積用）に、現場で撤去した資材を積み込み、置場へ3名で線路内を移動運搬中、線路内の横断側溝（巾42cm、深さ約1m）に気付かず、足を踏み外し、腰背部、左下腿部を挫傷し、全治2週間の診断を受けた。	49	418	2	50 ~ 99
2017	12	3~4	鉄道保線基地線で、軌道碎石運搬用軌道専用モーターカーの運転業務を終え、基地線へ入庫し、運転台から降車しようとして手摺を持った。前	54	232	1	10 ~

向きから後ろ向きに反転し、片足をデッキに乗せたときに足が滑り、その反動で手が離れ、地面（砕石部）へ転落して臀部を強打した。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html